ほろのべ 北緯45度のまち
議会だより
第136号
●発行　北海道幌延町議会
●編集　議会報編集委員会
●電話　01632-5-1111
●FAX　01632-5-2971

幌延町こども議会開催

平成28年度に幌延町の未来を担う幌延っ子に「町づくりや町議会の仕組みを理解し、身近に感じてほしい」、「普段はできない町への意見や提言を通し、大人と一緒にまちづくりを考えるきっかけにしてほしい」という思いを込めて始まった幌延町こども議会も、本年度で９回目の開催となりました。

こども議会では、幌延中学校の３年生18名が学校の授業や聞き取りから得た知識や情報を使った提案や鋭い意見など幌延町のことを真剣に考え、幌延町議会のように一般質問形式で、町長に質問しました。

こども議会は、前半が門田朱莉さん、後半に梶浦桃名さんが議長を務めました。また、問寒別小学校５・６年生と幌延小学校６年生も３年後の自分たち姿を重ね、真剣に町長とこども議員のやり取りを傍聴していました。

大野 瑠歌さん

質問 幌延町は、人口減少が進む中、魅力的な町をつくる必要があると思います。例えば、カフェを作ったらどうでしょうか。アイスクリームや期間限定などのメニューを作ってみてはどうでしょうか。

答弁 現在、町で検討している施設はカフェではなく、小さな子供からお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄って利用できる多世代交流施設です。アイスクリームや期間限定商品の提供というアイデアは、町民の方々が楽しめる町として拠点構想のコンセプトに合致する内容だと思いますので、施設を整備していく上で参考にさせていただきたいと思います。